

## はじめに

情報メディアセンター所長 松井 吉光

情報メディアセンター紀要COMの第43号をお届けいたします。今号も幸いにして、締め切りの段階で5本の寄稿の申し込みがあり、追加募集することもなく無事に発行に漕ぎ着けることができました。寄稿していただいた皆様にお礼を申し上げるとともに、より多くの方々にお読みいただけることを希望いたします。

さて、2017年3月に名古屋校舎の第2期工事が竣工し、本館（研究棟）、グローバルコンベンションホールが新たに施設として加わるとともに、既存の校舎の教育設備の拡充が図られました。情報メディアセンター関連の施設としては、講義棟7階にPC実習ゼミ教室が2部屋（PC20台）追加されました。施設以外では新しく追加された語学教室やゼミ教室に超短焦点のプロジェクターを導入したほか、グローバルラウンジや大学院自主室へのPC導入、またラーニングcommonsにおけるノートPCの貸し出しを新たに開始しました。これで一応、当初予定していた名古屋校舎の設備整備が完了したことになります。

ただ、これで情報メディアセンターの設備が学生数および教育・研究活動に照らして十分足りているのかというと、まだまだという感が否めません。豊橋校舎・名古屋校舎ともPC教室の稼働率は他の講義室に比べてずっと高い状態で推移しています。時間帯によっては全室が利用されて新たなPC教室利用をお断りせざるを得ないこともあります。また、情報メディアセンターのPCが満席になり、学生の利用の希望に添えられない状況も起こっています。また、貸し出し用ノートPCも在庫がなくなるという事態も発生しています。学生の間でスマートフォンが普及したのでPCはもうすでに必要ないと言われてたりすることもあります。たしかにウェブブラウジングにおいてはPCの必要性は一時より減りましたが、レポート・卒業論文作成やプレゼンテーションの作成となるとどうしてもPCを利用せざるを得ない状況は変わっていません。それは学期末にメディアセンターの利用者が増加することに如実に現れています。したがって、情報メディアセンターの設備および貸し出し用ノートPCをより充実させていく必要性はまだまだあると考えています。

利用者の皆様のご要望に耳を傾けながら、今後も情報メディアセンターの設備、サービスの拡充を進め、より良い教育・研究環境の構築を目指していきたいと考えています。皆様のご協力を賜ればと思います。